

2019(令和元)年度 私立学校初任者研修 北陸地区 研修会プログラムのご紹介



写真提供：金沢市

2019(令和元)年度の私立学校初任者研修北陸地区研修会は、7月31日(水)～8月2日(金)の2泊3日の日程で石川県金沢市のKKRホテル金沢を会場にして行います。

今年度の北陸地区の研修会のプログラムは、私立学校に勤める初任者である参加者に必要な「私学の現状と今後の課題」「私学教員の心構え」という私学人に必要な教養はもちろんのこと、地域の実情を踏まえ、アクティブラーニングにまつわる講義の開講を予定しています。

会期 2019(令和元)年7月31日(水)～8月2日(金)

会場 KKRホテル金沢 石川県金沢市大手町2-32

TEL:076-264-3261 FAX:076-224-3608

参加費 39,000円(参加会費・宿泊費(2泊)・食事代を含む)



JR金沢駅兼六園口(東口)より

- ・徒歩 25分
- ・バス 7番乗り場より11・12・16番
橋場町経由バス10分
(料金200円)
- ・タクシー 約10分(1000円前後)

※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

昨年度の北陸地区 初任者研修の様子

～私立学校初任者研修地区研修会のプログラムおよび研修会の様子を知っていただくために～

平成30年度の北陸地区初任者研修は平成30年8月1日～3日の日程で、福井県福井市の福井パレスホテルを会場に実施されました。

福井・富山・石川・長野県から50人を超える初任の先生が参加し、私学の教員としての在り方・高大接続改革・学習指導・配慮を必要とする生徒への支援に関する講義を受講しました。また、グループ討議では自らの悩みを共有したり、疑問点を出し合うことで解決への道を模索しました。普段は接することの少ない他の私学の先生との交流は、参加者に良い刺激を与えていました。

教育者としての熱い想いを語ってくださった講師の先生方。初任者研修では「私立学校と公立学校の違い」「私学の建学の精神の現代における意義を考える」など、私立学校に勤める「私学人」としての考え方の基本を学ぶことが出来ます。

参加者の声：以前公立高校で勤務していたので、私学教員の在り方を新たに学ぶことができ、身がしまる思いになった。



昨年度の研修会では「高大接続改革」「配慮を必要とする生徒への支援」「学習指導」など、時代に即したテーマの講義があり、参加者も熱心に耳を傾けていました。教育界の最新情報を聞くことが出来るのも、研修会に参加するメリットです。



グループ討議では、普段は接することの少ない他校の先生とグループをつくり、「生徒指導」「教科指導」「学級づくり」に関して議論をしました。普段、それぞれの先生方が置かれた環境は様々ですが、他の先生方の意見を聞き、グループ内で意見を交わすことによって、自らの実践にも還元できるヒントを得ることが出来ます。最終日にはグループで話し合った内容について発表し、指導員の先生からの講評がありました。グループ討議を通じて得た仲間は、今後の教員として勤める初任者の先生方の大きな財産となります。



参加者の声：各校の様々な問題をいくつか取り上げ、深く討議できました。他校でも自分と同じようなことで苦労されている先生がおり、共有できることがあり、とても有意義でした。



2019（令和元）年度 私立学校初任者研修 北陸地区 研修内容

全体研修①②

全体研修①②では、「私立学校に勤める教員向けの研修」であることを意識し、私立学校の現状や今後への課題、私立学校の教員としての心構えを学びます。

全体研修① 「私学の現状と今後の課題」（仮）

講師：森 涼

（一般財団法人日本私学教育研究所

私立学校初任者研修等事業検討委員）

（学校法人石川高等学校・石川義塾中学校 理事長・校長）

全体研修② 「私学教員の心構え」

講師：荻原昭人

（福井県私立中学高等学校協会 会長）

（学校法人福井精華学園啓新高等学校 理事長・校長）



全体研修③④

全体研修③④では、アクティブラーニングの授業のあり方を理論編（③）・実践編（④）の2パートに分けて学びます。理論だけでなく実践的にも学ぶことで、先生方の授業に役立てることが出来ます。

全体研修③ 「アクティブラーニング授業の在り方を学ぶ」理論編

講師：田中康友

（北陸大学国際コミュニケーション学部 教授）

全体研修④ 「アクティブラーニング授業の在り方を学ぶ」実践編

講師：田中康友

（北陸大学国際コミュニケーション学部 教授）

講師：福山悠介

（北陸大学国際コミュニケーション学部 准教授）



全体研修⑤⑥

全体研修⑤⑥では、学習指導と生徒指導の基本的な考え方をベテランの先生方から学ぶことが出来ます。今後の皆さんの教員生活にとって、大変有意義なアドバイスになるはずです。

全体研修⑤ 「学習指導の基本的考え方を学ぶ」

講師：笠谷清一郎（金沢高等学校 進学指導部主任）

全体研修⑥ 「生徒指導の基本的考え方を学ぶ」

講師：鍋谷正二（星稜中学校・高等学校 校長）



グループ討議

グループ討議では他校の先生方と一緒にグループをつくり、テーマに沿って議論を進めます。普段感じている疑問・悩みを共有することで、解決への糸口を探ります。

2019（令和元）年度 初任者研修 北陸地区研修会 講師紹介



「AL？」 大学の授業で、ALの導入を求められたときに、頭に思い浮かんだことばです。現在では、2020年から本格実施される新学習指導要領で重視されている「主体的・対話的で深い学びの実現」がALの定義として定着していますが、当時は直訳で「ALとは能動的な学び」と聞かされて、何をしたらよいのかさっぱり分からない状態でした。北陸大学での私たちのAL実践は、他大学の事例を参考にしながら手探り状態で始まりました。そんなとき、前年度私の授業を合格した学生が、次の年、前年度の授業内容を全く覚えていないのが分かり、昔ながらの教員からの一方通行の授業を変える必要性を実感させられました。そこで行き着いたのが、ALです。私たちは、大学内でALの導入が目的化しがちであったところ、むしろ手段としてALをどのように導入したら学生たちの理解度を上げ、内容の定着に役立つのかを考えて、ALを導入してみました。この研修では、私たちの実践の一端を紹介することにより、あらたに高校で教鞭を執られる先生方に、何かヒントを差し上げられればと考えております。

全体研修③・④「アクティブラーニング授業の在り方を学ぶ 理論編・実践編」担当

田中 康友 先生（北陸大学国際コミュニケーション学部 教授・写真右）

福山 悠介 先生（北陸大学国際コミュニケーション学部 准教授・写真左）

開催県（石川県） 初任者研修地区運営委員からのご挨拶

現在、グローバル化や情報化の急速な進展、人工知能の発達などにより、社会構造は世界的に大きな転換期を迎えています。教育現場に目を向けると、「教育改革」がスタートし、新しい時代に対応した教育内容を確実に進めていくことが求められています。さらには、多様化した生徒・保護者への対応もあり、教員に求められる業務の質・量に目を向けると、「働き方改革」を複雑な思いで受け止めています。このような中、新採の先生方は、初めて出会う様々な問題に直面し、日々奮闘されていることと思います。

さて、今研修会は4本の柱で構成されています。1つ目の柱は、『私学の現状と今後の課題』と『私学教員の心構え』を正しく理解し、進むべき方向を学ぶこと、2つ目の柱は、今年3月に告示された「新学習指導要領」の中で、「どのように学ぶのか」という学びの質や深まりが重視されていることに注目し、『アクティブラーニング授業の在り方を学ぶ（理論・実践）』ことを通して今後の授業改善に活かすこと、3つ目の柱は、日々の教育活動に活かすため、『学習指導及び生徒指導の基本的考え方を学ぶ』こと、そして、4つ目の柱として、「総合的な探究の時間」を取り上げ、各グループが協働して「課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現」までの探究活動に取り組んでもらいます。その他にも、経験交流会などの時間を有効に活用して、若い教員特有の悩みや日々の実践を交換し、交流を深めることも大切にしていきたいと考えています。

7月、金沢で新採の皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



一般財団法人 日本私学教育研究所
私立学校初任者研修地区運営委員（石川県）
金沢高等学校
校長 杉浦 外美夫

一般財団法人 日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683 日本私学教育研究所HP <http://www.shigaku.or.jp/>